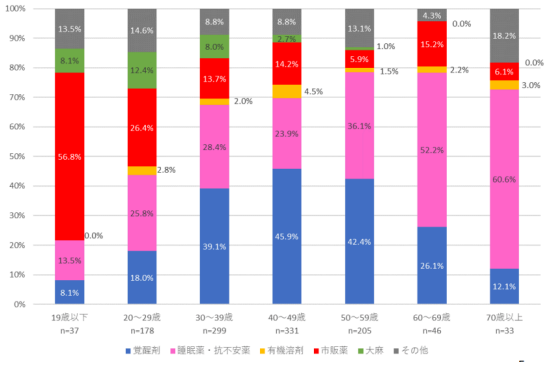
「私たちが使う薬の危険性」

鹿本高校１年　平井瑛太　坂西新　藤本沙輝

要旨　最近ニュースでオーバードーズや薬物乱用という言葉をよく聞くようになった。薬を使用するにあたって、市販薬が薬物として精神科などの病院に通う人がいる。その原因の1つとして市販薬などの薬の成分が関係しているのではないだろうかと考え、文献やインターネットなどを用いて調べた。

研究背景

〇精神科医療施設を受診する薬物関連疾患患者の主たる薬物
(1年以内に使用歴のあるもの)



n=人数
引用元:「我が国における市販薬乱用の実態と課題」
「わが国における市販薬乱用の実態と課題「助けて」が言えない子どもたち　医薬品の販売制度に関する検討会」

・大麻や覚醒剤などの違法薬物以外に市販薬や睡眠薬などの日常生活で使われる薬を使用することによって精神科に通う人がいる。
・19歳以下と70歳以上の人たちは他の年代と比べて誰でも手に入りやすい薬を使用している割合が多い。

⇒誰でも手に入れやすく、病気を治すために使われる市販薬の割合が多いのは薬の成分に依存性があるのでは と思ったため。

研究手法

文献調査
・一般の市販薬の成分
・薬の成分に依存性が高いもの
・市販薬の成分を比較したときに共通する成分
・薬を大量に摂取することによって起こる症状

結果・考察

〇主な市販薬に含まれている成分

・アセトアミノフェン…熱や痛みを抑えるのに使用されている成分。子供や妊婦の人でも使用することができる。

・イブプロフェン…鎮痛、解熱効果がある。熱が出た際などに使用される。

・アスピリン…炎症をしずめて、腫れや発赤、痛みなどの症状をおさえ、また熱を下げる作用もある。対処療法薬なので、熱や痛みの原因そのものを治すことはできない。

・ロキソプロフェン…鎮痛作用・抗炎症作用・解熱作用の3つのバランスを良くする。空腹時は避け、食べ物や飲み物を摂って服用すること。

・無水カフェイン…主に風邪薬に入ってる。中枢神経を刺激することによって眠気や疲労感をとり、頭の重い感じを和らげる作用がある。栄養ドリンク剤、乗物酔い薬などに配合されていることが多い成分。

〇依存性のある成分

・ブロモバレリル尿素…寝付きを良くしたり、不安や緊張をほぐすときに使われる。依存性があるだけではなく、過量服薬の危険性があり、海外では含有されない 。

・ ジヒドロコデイン…主に咳を止める効果があり、咳止めの薬によく使われている。急激に量を減らしたり、安定剤と併用するとふらつきや低血圧になる。

・メチルエフェドリン…交感神経を刺激することで気管支を広げて呼吸を楽にし、咳を鎮める成分。総合感冒薬(かぜ薬)や鎮咳去痰薬、鼻炎用内服薬などを中心に広く使われている。高血圧の人や糖尿病の人は服用を避ける。

引用元:「薬剤師さんに聞いた　アセトアミノフェンの特徴　タイレノールA」、「薬の成分ディクショナリー　イブプロフェン　エスエス製薬　「アスピリン」」、「痛みや熱を抑えるロキソプロフェンってどんな成分？　大正製薬」、「無水カフェインの効果や副作用　カフェインとの違いも解説　+minacolor」、「一般用医薬品による薬物依存の実態　医学書院」、「ジヒドロコデインリン酸塩「第一三共」原末　患者向け医薬品ガイド」、「dl-メチルエフェドリン塩酸塩　大正製薬」

〇依存性のある市販薬の比較

依存性のある市販薬の中で2つを比較する。

この2つの市販薬の成分を見てみるとイブプロフェンと無水カフェインが共通していた。また、この２つの成分の副作用としてめまいや不眠が共通していた。

引用元:「有効成分に「無水カフェイン」を含む市販薬　PLAMEDplus」、「「イブプロフェン」に関する薬一覧　QLIFE」

〇薬を大量に摂取することによって起こる症状

依存性があると薬の量が大量に摂取することに繋がり、大量に摂取することによって幻聴、幻覚、錯乱行動などの症状がでる。また、過剰摂取することにより、心臓の鼓動がかく乱され、不整脈が起き、最悪の場合死亡することがある。

引用元:「オーバードーズで女子高生死亡。医師が語る増加要因と予防策　文化放送」

今後の展望

今回の探究の調べで市販薬などの薬の危険性や依存性などについて詳しく知ることができた。本来の薬の目的は病気を治すためのものであるが、その一方で依存性のある薬の使い方を間違えれば危険なことになるということを改めて知った。今後は薬を飲む際に飲み合わせの悪い薬や飲み物を調べ、自分の身の回りの人に知ってもらい正しい知識を持ってもらいたい。

引用文献・参考文献

・https://diamond.jp/articles/-/317877?page=3
「「実は危ない市販の風邪薬」実名公開…咳止めシロップは乱用注意、最悪死に至ることも　DIAMPND　online」
・https://www.apo-miob.com/glossary/000150.php
「鎮咳薬(鎮咳薬)　APOPLUS薬剤師」
・https://www.apha.jp/faq/entry-33.html
「Q6.かぜ薬の成分と選び方・服用法について教えてください？　愛知県薬剤師会」
・https://ja.wikipedia.org/wiki
「鎮痛薬　ウィキペディア」
・https://www.kusurinomadoguchi.com/column
「眠気を防止するカフェイン錠剤【市販薬】とは？効果と注意点を解説　EPARK　薬の窓口」
・https://www.tylenol.jp/column/characteristics
「薬剤師さんに聞いた　アセトアミノフェンの特徴　タイレノールA」
・https://www.ssp.co.jp/dictionary/ibuprofen/
「薬の成分ディクショナリー　イブプロフェン　エスエス製薬」
・http://www.interq.or.jp/ox/dwm/se/se11/
「アスピリン」
・https://brand.taisho.co.jp/contents/naron/355/
「痛みや熱を抑えるロキソプロフェンってどんな成分？　大正製薬」
・https://minacolor.com/blogs/articles/
「無水カフェインの効果や副作用　カフェインとの違いも解説　+minacolor」
・https://www.igaku-shoin.co.jp/paper/archive/y2021/3408_03
「一般用医薬品による薬物依存の実態　医学書院」
・https://www.info.pmda.go.jp/downfiles/guide/ph/430573_8115003X1089_1_00G.pdf
「ジヒドロコデインリン酸塩「第一三共」原末　患者向け医薬品ガイド」
・https://www.taisho-kenko.com/ingredient/
「dl-メチルエフェドリン塩酸塩　大正製薬」
・https://www.plamedplus.co.jp/ing/ogn077.html
「有効成分に「無水カフェイン」を含む市販薬　PLAMEDplus」
・https://www.qlife.jp/meds/search/
「「イブプロフェン」に関する薬一覧　QLIFE」
・https://www.jogr.co.jp/gr/article/37615/
「オーバードーズで女子高生死亡。医師が語る増加要因と予防策　文化放送」